

(担当：北見市立中央小学校 細木 亜由美)

1 教科・対象学年

- (1) 教科等 総合的な学習の時間 (全13時間)
 (2) 学年 4年

2 ねらい

自分たちの住む遠軽町（オホーツク地区）が、道づくりを通して発展してきた歴史を学ぶことを通して、当時の人々の思いに気付き、自分たちの日常を見つめ直し、自己のこれからの生き方について考えていくことができる。

3 題材について

- (1) 社会科・国語科との関連

4年「昔から今へと続くまちづくり」
 4年「ポスターセッション」

- (2) 囚人たちがつくった道が、開拓への道へとつながる

遠軽町の開拓の歴史は、明治24年の北海道中央道路と湧別原野基線道路（それぞれ今の国道333号と国道242号）の開通により幕を開ける。北海道の内陸部開発と同時に対ロシア防衛上の意味をもったこの2つの道路の開削には、大勢の囚人が過酷な工事に使役され。栄養状態も不十分であり、多くの犠牲者を出した。その後明治30年、キリスト教主義の大学を設立するという夢を掲げた移民団が開拓に入る。故郷の歴史を知ることで、地域への愛着をもち、前向きに生きていく土台づくりができると思う。

4 展開例

- (1) 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	自分たちの住む町は先人の苦労や努力によって発展してきたことを理解している。	様々な体験活動や情報収集することを通して、情報を整理し、自分の考えを表現することができる。	進んで過去の史実を調べ、今の自分にできることは何か考えることができる。

- (2) 展開例

学 習 活 動

指導上の配慮事項等

一
時
間
目

※1 記念碑～100年たつんだね。でも、どこからが「遠軽町」なんだろう？

遠軽町のはじまりは、いつ？

開拓の頃は、大変だったんだろうね。
 →昔の人は“どんな思い”で開拓したんだろう。

遠軽の昔、そして今につながる道のりについて、学ぼう。

副読本の内容や年表から引き出す。年表の最初の項目が町の始まりではないことに気付かせる。※2

本単元で、学ぶべきことの意識付け・意欲付けをする。昔から現在に至るまでの道のり＝みち学習についておさえる。

冬休みの課題

昔の大変だった話を、もっと知りたいな。

昔のことを調べてこよう

家族や冬休みに会う親戚に直接、あるいは電話等で、聞いてくる。昔の生活での苦労や現在と違う点等、直接体験ではなくても情報があれば、できれば遠軽町についてだが、昔について全般的なことでも可とする。→保護者への協力依頼を通信等で。

二〜四時間目

調べてきたことを、発表しよう

大木を切るって、どれくらい大変なの？

食事はまずかった？

家はぼろぼろなの？

上湧別の郷土博物館に行ったら、わかるかも！

「開拓」「食」「住」「戦争」「囚人」等、ある程度カテゴリー分けをした上で発表。そこから出てきた疑問点を整理させる。→湧別浜から開拓者が入ってきたことに注目。※3 上湧別の郷土博物館 JRY には、当時のシオラマを見たり、体験学習ができたりする。

三〜五時間目

郷土博物館に行って、調べよう

大変なことばかりじゃ、なかったんだ！

囚人については、わからなかったね。

いなきびご飯試食、丸太切り体験、昔の服体験、屯田兵屋体験をする。また、学芸員さんに質問したいことについて聞く。→「新天地を築くという希望があった」ことや、当時の生活としては「当たり前」だったことに気付かせる。

六〜八時間目

囚人道路について、くわしい人がいるよ。聞いてみよう。

囚人道路について、調べよう

今の遠軽町やオホーツク地域の**発展**があるのは**命がけて囚人たちが道路を作ってくれたから**。

昔のことは、若者や子どもが**受け継いで**いかないと**忘れられて**しまう。

※4 ゲストティーチャーを呼んで話を聞く。(監獄博物館の遠隔授業に置き換えることも可。)

※5 駅通(えきてい) ※6 慰霊碑、※7 家庭学校との意外なつながり、※8 安彦良和「王道の狗(いぬ)」、※9 実は大通も「囚人道路」、※10 常紋トンネルにつなげることもできる。

九〜一二時間目

昔の人の思いを、伝えよう

どんな思いで開拓し、現在に至ったのか。学んだことを発表しよう。

学んだ昔の人の思いをポスターにまとめて、ポスターセッションをする。(参観日に発表会を設定し、保護者に聞いてもらう。)～国語科との関連。

一三時間目

まとめ：つなげよう、未来へ

道とともに発展してきた「ふるさと・遠軽」のことを**もっと学ぼう**。そして**生かそう**。

囚人道路(網走～旭川の中央道路、湧別～遠軽の基線道路)、そこを通過して開拓・屯田兵・※11 キリスト教主義の大学設立へとつながる。今後はどんな道を作り、発展していくのか。今を生きる自分たちは、どんな思いを大切にしていくなのか、考えさせる。

5 板書計画

1時間目(1/13)

遠軽昔・みち物語

当時の人々は・・・

まちの始まりはいつなのか、調べよう。

記念碑「芽ばえ」の写真

1897年 遠軽の開たく始まる

1869年 北見国紋別郡となる

1892年 野上に駅通

大変だった つらかった?

どんな思いがあったのだろう?

1997年 開基100周年

ここから100年前?

遠軽の昔、そして今につながる道のりについて、学ぼう。

13時間目(13/13)

遠軽昔・みち物語

人々の思いは、どのようにつながっていくのだろう。

・知る、伝える
・考える → よりよい生き方

未来 今

・がんばろう ・大変
・夢 ・心配
・みんなで協力 ・寒い

・助けて!
・人間らしく
・死んじゃう

開たく団・屯田兵

写真 写真

囚人道路

写真

未来への「みちのり」
・・・希望、楽しみ、幸せ とつなげたい

「道」とともに発展。もっと学ぼう。生かそう。